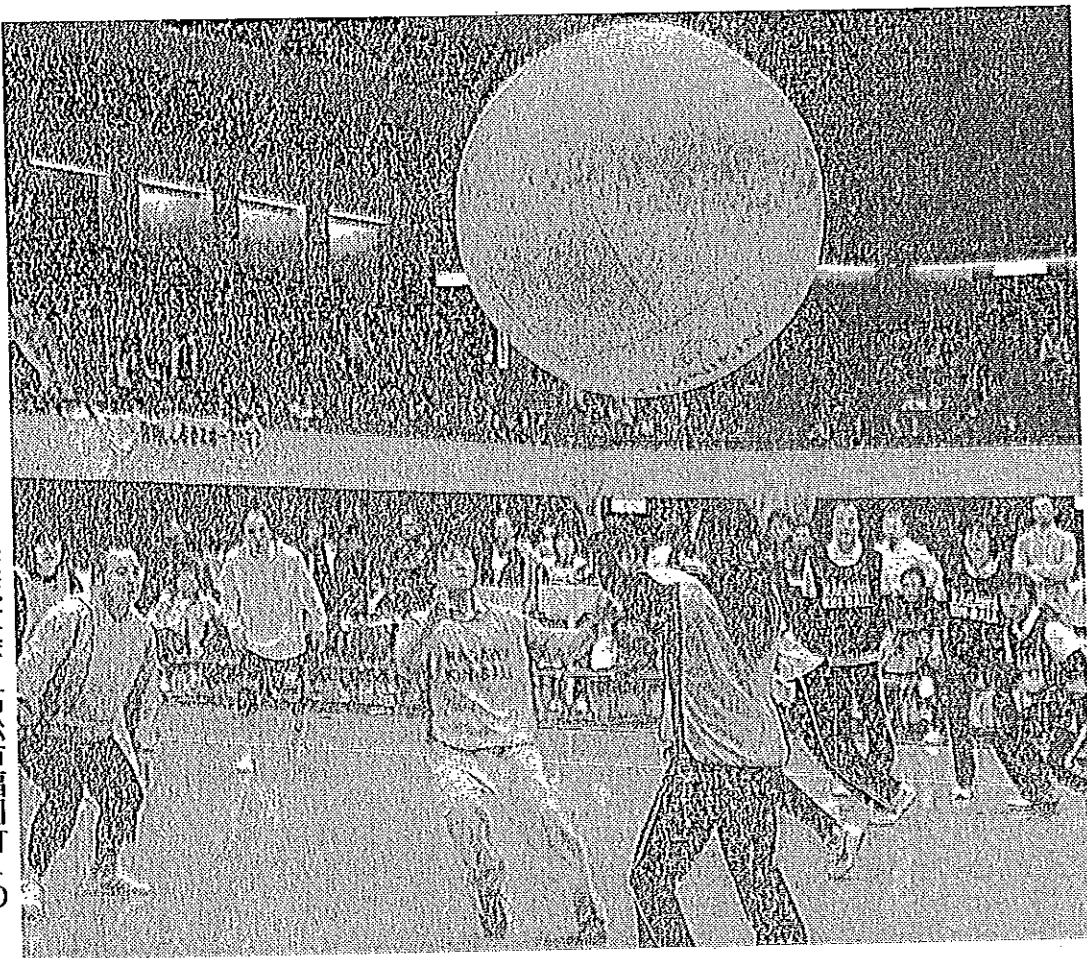


幅広い年代層が参加した県キンボール交流大会は高松市福岡町4の市総合体育館で



幅広い世代が熱戦

新しい屋内スポーツ「キンボール」の第5回県交流大会(県キンボール連盟主催)が、高松市福岡町4の市総合体育館であり、小学2年から60代までの約350人が参加した。

キンボールは86年にカナ

ダで考案され、97年に日本

に1点ずつ入るというルール。協調性を養う狙いで考えられ、幅広い年代層や障害者が参加できる。来年2月に高松市で全国大会、今年11月には兵庫県宝塚市で世界大会が予定されているという。

大会には、各地域のPT

キンボール県交流大会

で紹介された。直径1.82m、重さ約1kgのボールを使い、4人ずつの3チーム(黒・グレー・ピンクのゼッケンを着用)で対戦。例えばピンクチームの選手が「オムニキン黒」とボールを打つと、黒チームの選手がレシーブしなくてはならず、落としたら他2チームで紹介された。直径1.82m、重さ約1kgのボールを、女性、同混成の三つの部で計54チームが出場、大きなボールを懸命に追いかけた。土居正則・連盟会長は「誰でも活躍できる生涯スポーツとして県内で普及させたい」と話していた。

【馬淵晶子】